

実態把握表チェックシートの使用マニュアル

①シート「実態把握表」の各項目右側にあるチェック欄をクリックする(図1)。

②チェック欄にチェックを入れた項目が別シート「カスタマイズ表」に抽出される(図2)。

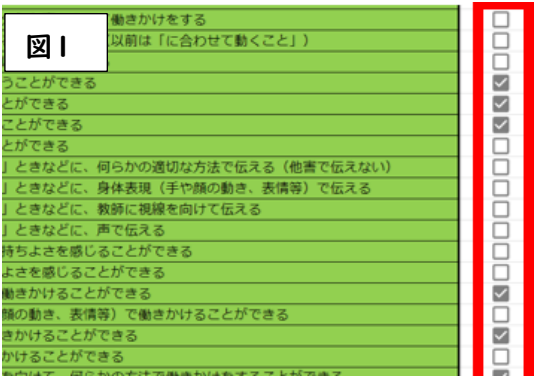
③別シート「チェックシート」で、「カスタマイズ表」に抽出されている区分・項目・付けたい力をプルダウンで選ぶことができる(図3)。また、活動内容は、別シート「プルダウンリスト」の F 列にある項目をプルダウンで選ぶことができる。

④手立ては、パソコンまたはタブレット端末のどちらでも入力ができる。

⑤授業後には、評価をプルダウンで三段階から選ぶ。

◎は目標を次の段階に発展させ、○は目標を継続し、▲は目標や手立ての見直しの基準とする。また、振り返りは生徒の様子などメモで記録し、次の授業での付けたい力や手立ての設定に活用する(図4)。

⑥全て入力し終わったら、タブレット端末のスクリーンショット機能を使って記録する。



区分	項目	付けたい力
人間関係の形成	自己の理解や行動の調整	自分で行えること、できそうなことには進んで取り組もうとする
環境の把握	感覚の補助及び代行手段の活用	

図3

歩行器を活用し、周りの状況を把握することができる。
2つの具体物を選択肢として提示して、比較し、選択することができる

区分	項目	付けたい力	評価
人間関係の形成	他者との関わり基礎	特定の教師からの呼びかけ等の関わりに対して視線を向ける	◎
環境の把握	感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動	提示された物を握むことができる	○
活動内容	教材を操作する		▲
手立て	生徒が教材に手を伸ばして選択するまで、待つようにする。		○
振り返り	興奮状態だったため、教材に触れることが少なかった。		

図4